

1日で学ぶ 年末調整の実務

年末調整を正しく、効率よく

年末調整は「毎年あるけれど不安が残る業務」の代表格です。

本研修では、基本事項から実務の進め方、令和8年改正のポイントまでを整理。

演習を交えながら、年末調整にすぐ役立つ実践力を身につけます。

ねらい1

正しく、効率よく進める
ための実務力強化

ねらい2

書類チェックや計算方法など、
役立つスキルを
演習で習得

ねらい3

安心して業務を進めるため
最新知識を得る

講師

慶應義塾大学経済学部卒業後、日本政策金融公庫にて中小企業融資に従事。その後公認会計士試験に合格し、アーサーアンダーセン(当時世界最大の会計・コンサルティング事務所)にて会計監査・コンサルティングを担当。事業会社での経営管理職を経て2011年に独立。

現在はTAMマネージメント かわい公認会計士・税理士事務所を主宰し、中小・ベンチャー企業への税務顧問を担当。顧問先の継続率96%(廃業除く)を維持しながら、毎年、年末調整を担当者と一緒に手を動かして処理してきた実務経験を持つ。「教科書通りにいかない現場のケース」——中途入社・退職者の処理、扶養の異動、書類の不備対応——を数多く経験しており、担当者が実際に迷う場面を熟知している。

また、税理士として税制改正への対応を継続的にウォッチしており、令和8年改正が現場の実務にどう影響するかを具体的に解説できる立場にある。

著書に『外資系エリートのすぐ成長する仕事術』(日本実業出版社)、『現場で使える会計知識』(アスカ出版)ほか。テンプル大学経営大学院(MBA)修了。実用英語検定1級



川井 隆史氏

ハンズオン・CFO・パートナーズ株式会社
代表取締役
公認会計士・税理士・MBA

主な内容

— 導入・全体像の理解 —

- 年末調整の目的と法的背景
- 年間スケジュールと実務の位置づけ
- **ワーク**: 標準フローチャートに自社業務を書き込み

— 基本事項の整理 —

- 課税所得の算定プロセス
- 給与所得控除・各種所得控除(扶養、配偶者、基礎、社会保険料、小規模共済)
- 源泉徴収票の読み方と構成
- **演習**: モデル社員データのデータをもとに、控除計算&源泉徴収票作成

— 令和8年税制改正のポイント —

- 基礎控除・扶養控除等の改正点
- 書式変更と留意点
- **演習**: 前年との比較シミュレーション

— 実務処理の進め方 —

- 必要書類(扶養控除申告書、保険料控除証明書等)の確認ポイント
- 書類回収から給与システム入力までの流れ
- 不備や質問対応のパターン
- **事例演習**: 不備チェック
- **ワーク**: 社員からの典型的な質問にどう答えるか

— ケース演習 —

- **ケース1**: 住宅ローン控除初年度の対応
- **ケース2**: 中途入社・退職者の調整

— まとめ・実務チェックリスト —

- 年末調整スケジュール表・チェックリスト配布
- 業務の効率化のヒント

※制度改正の動向を踏まえ、内容は一部変更となる場合がございます。

2026年9月11日(金)

9:30~16:30

会場 稲毛セミナールーム (案内図裏面)

受講料 会員: 24,200円 消費税込 (資料代含)

一般: 35,200円 消費税込 (資料代含)

※1社2名以上ご参加の場合、合計金額の10%を割引きます

定員 30名

※申込者が10名未満の場合は、中止とさせていただきます



当日は電卓をお持ちください

お申込みはこちら ▶▶▶

セミナーお申込み・ちばぎん総合研究所



